



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジェイテック

コード番号 2479 URL <https://www.j-tec-cor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 佐野 清一郎 (TEL)03-6228-6463

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	782	11.6	25	—	37	—	10	—
2022年3月期第1四半期	701	3.0	△80	—	△35	—	△25	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 11百万円(一%) 2022年3月期第1四半期 △45百万円(一%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	1.31	—
2022年3月期第1四半期	△3.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	2,023	936	46.3	117.97
2022年3月期	1,981	932	47.1	117.52

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 936百万円 2022年3月期 932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,655	15.9	11	—	25	265.2	18	—	2.27
通 期	3,500	17.0	140	—	155	32.0	93	54.3	11.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	8,572,400株	2022年3月期	8,572,400株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	636,300株	2022年3月期	636,300株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	7,936,100株	2022年3月期1Q	7,883,300株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の促進などの防止策の効果や海外経済の改善などから持ち直しの動きがみられた中、国内外において変異株の出現等による感染の再拡大を受け、依然として景気の先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような環境の下、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業においては、テクノロジストに対するニーズがコロナ影響前と近似の水準まで戻ってきており、稼働状況は回復方向に進んでいる状況です。引き続き営業活動に注力するとともに、当社主要顧客である大手製造業各社の需要拡大に備え、テクノロジストの技術力向上に向けた研修カリキュラムや設備の改善をはじめとする教育環境を強化しております。

当第1四半期において、売上高はテクノロジストの稼働率上昇もあって増加となりました。また、営業外収益として、助成金収入以外、特段顕著なものは発生しませんでした。費用面においては、売上原価はトップライン伸ばすも前年同期とほぼ横這い、全社的な業務効率化が推進されたこともあり、販売費及び一般管理費は減少となり、営業損益が大幅に改善しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高782,284千円（前年同期比11.6%増）、営業利益25,616千円（前年同期は80,010千円の営業損失）、経常利益37,295千円（前年同期は35,753千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,358千円（前年同期は25,838千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 技術職知財リース事業

当第1四半期連結累計期間は、主に当社グループのテクノロジストの人数・労働工数が増加したことにより売上高は増加いたしました。その結果、売上高は774,212千円（前年同期比12.0%増）、セグメント利益は114,948千円（前年同期比741.5%増）となりました。

② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

当第1四半期連結累計期間は、コロナ禍の影響を受け前期以上に長く休止した業務もあり売上高は大幅に減少いたしました。販売費及び一般管理費を大幅に削減した結果、売上高は8,072千円（前年同期比17.2%減）、セグメント利益は4,523千円（前年同期は5,848千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2,023,223千円となり、前連結会計年度末より41,430千円の増加となりました。これは主に繰延税金資産の増加15,884千円によるものであります。

負債合計は1,086,994千円となり、前連結会計年度末より37,884千円の増加となりました。これは主に賞与引当金の減少78,672千円があったものの、未払費用の増加171,378千円によるものであります。

純資産合計は936,229千円となり、前連結会計年度末より3,546千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上10,358千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.3%と前連結会計年度末の47.1%に比べ0.8ポイント下落いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年6月29日の「(訂正・数値データ訂正)「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,284,527	1,285,571
受取手形、売掛金及び契約資産	434,520	428,307
電子記録債権	3,149	4,045
仕掛品	43	2,339
その他	72,470	102,977
流動資産合計	1,794,711	1,823,241
固定資産		
有形固定資産	54,033	53,327
無形固定資産	1,084	966
投資その他の資産		
敷金及び保証金	55,183	53,777
繰延税金資産	70,464	86,348
その他	6,315	5,563
投資その他の資産合計	131,964	145,688
固定資産合計	187,081	199,982
資産合計	1,981,793	2,023,223
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	110,124	109,284
未払金	116,953	76,314
未払費用	45,636	217,015
未払法人税等	55,492	44,997
未払消費税等	51,339	66,841
賞与引当金	170,363	91,690
その他	9,451	17,333
流動負債合計	559,360	623,476
固定負債		
長期借入金	259,605	232,824
退職給付に係る負債	230,144	230,693
固定負債合計	489,749	463,517
負債合計	1,049,109	1,086,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	248,548	248,548
利益剰余金	534,273	536,695
自己株式	△96,946	△96,946
株主資本合計	947,709	950,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,841	3,327
退職給付に係る調整累計額	△18,868	△17,229
その他の包括利益累計額合計	△15,026	△13,902
純資産合計	932,683	936,229
負債純資産合計	1,981,793	2,023,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	701,121	782,284
売上原価	570,255	558,779
売上総利益	130,865	223,504
販売費及び一般管理費	210,876	197,887
営業利益又は営業損失(△)	△80,010	25,616
営業外収益		
受取配当金	160	47
受取補償金	164	—
助成金収入	16,442	11,376
投資有価証券売却益	27,900	—
その他	149	663
営業外収益合計	44,817	12,087
営業外費用		
支払利息	560	408
営業外費用合計	560	408
経常利益又は経常損失(△)	△35,753	37,295
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△35,753	37,295
法人税、住民税及び事業税	19,459	42,594
法人税等調整額	△29,374	△15,656
法人税等合計	△9,914	26,937
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,838	10,358
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△25,838	10,358

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,838	10,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,717	△514
退職給付に係る調整額	1,522	1,638
その他の包括利益合計	△19,194	1,124
四半期包括利益	△45,033	11,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,033	11,482
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
- (継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。
 - (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。
 - (会計方針の変更)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	691,369	9,752	701,121	—	701,121
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	1,562	1,562	△1,562	—
計	691,369	11,315	702,684	△1,562	701,121
セグメント利益又は損失(△)	13,659	△5,848	7,811	△87,822	△80,010

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額(△87,822千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	774,212	8,072	782,284	—	782,284
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	1,615	1,615	△1,615	—
計	774,212	9,687	783,899	△1,615	782,284
セグメント利益	114,948	4,523	119,472	△93,855	25,616

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△93,855千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。